

第448回 構造懇話会 平成23年度新例会のご案内【確定版】

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成23年度新例会を下記のとおり開催いたします。

新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市及び各会社、団体の関係部局にもご案内を頂き、活発な討議を
期待しています。多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成24年1月27日(金) 13:15~17:00

- 新例会終了後、懇親会(17:30~19:30(時間は予定))を開催する予定です。
- 懇親会参加申込用紙を作成いたしました。参加希望の方は「構造懇話会 懇親会申込書」をご参照の上、お申し込み願います。

2. 場 所 **兵庫県私学会館 4階 大ホール**

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目3-13 TEL (078)331-6623 (代表)

3. テーマ

『 橋梁の予防保全の現状と将来展望(その2) 』

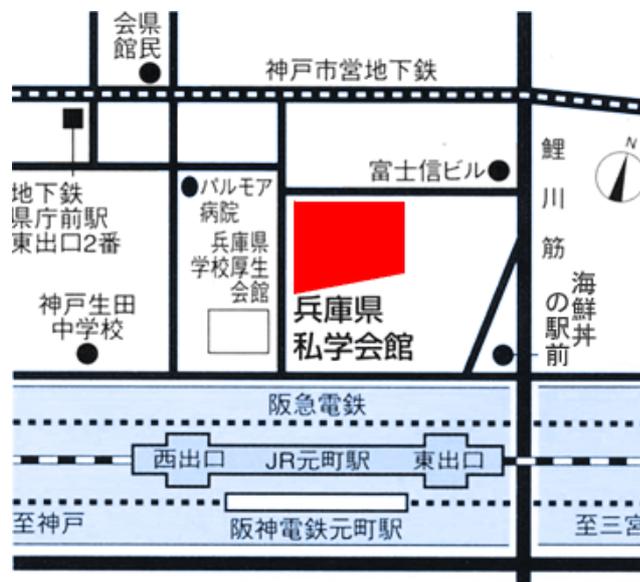
- 詳細はプログラムを参照してください。
- 特別講演ならびに話題提供の要旨を追記しました。合わせてご参照ください。

[連絡先] 〒600-8133 京都市下京区七条通加茂川筋西入稻荷町458

株式会社エース 河田 直樹

TEL: 075-361-1523 / FAX: 075-361-1978 / e-mail: n_kawada@acekyoto.co.jp

[案内図]



- JR元町駅東口から徒歩2分 ● 阪神電鉄元町駅東口から徒歩3分
- 阪急電鉄三宮駅から徒歩7分、花隈駅から徒歩7分 ● 神戸市営地下鉄県庁前駅から徒歩3分

第 448 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：橋梁の予防保全の現状と将来展望（その2）

「劣化の評価・予測と補修のあり方」

日 程：平成24年1月27日（金）

時 間：13：15～17：00

場 所：兵庫県私学会館

【 第1部（特別講演） 】

- 13：15～13：20 開会の挨拶、講演者の紹介
構造懇話会会長 森川 英典
- 13：20～14：30 特別講演
「高速道路橋における計画保全の現状と課題」
中日本高速道路(株) 上東 泰 氏
- 14：30～14：45 休憩

【 第2部（パネルディスカッション） 】

- 14：45～14：55 パネルディスカッションの主旨説明とパネラーの紹介
構造懇話会会長 森川 英典
- 14：55～15：55 パネラーによる話題提供
(1) 「鋼橋の維持管理の現状と課題（疲労に着目して）」
阪神高速道路(株) 加賀山 泰一 氏
(2) 「PC 橋の維持管理の現状と課題（鋼材腐食に着目して）」
(株)ピーエス三菱 石井 浩司 氏
(3) 「プレキャスト橋の維持管理の現状と課題（ひび割れに着目して）」
川田工業(株) 藤林 博明 氏
- 15：55～16：55 パネルディスカッション 座長・司会 森川 英典
質疑応答
- 16：55～17：00 閉会の挨拶 構造懇話会副会長 嵯峨 晃

【特別講演】

講演題目 『 高速道路橋における計画保全の現状と課題 』

講演者 中日本高速道路株式会社 上東 泰 氏

講演要旨

NEXCO 中日本の管理する橋梁は、1963 年の名神高速道路の開通から既に 46 年を経過し、供用後 30 年以上の橋梁も全体の 6 割を占める状況となっており、過酷な使用環境下での経年に伴う様々な変状が顕在化している。このため、NEXCO 中日本グループでは、より安全・安心・快適な高速道路を目指し、点検・診断技術の高度化と技術開発の推進等により、橋梁の更なる効率的で効果的な維持管理を行っているところである。

本講演では、高速道路橋の維持管理の現状を俯瞰し、NEXCO 中日本グループにおける橋梁の点検・診断技術と技術開発の現状、および『100 年道路』を目指した計画保全の課題等について概説する。

【パネラーによる話題提供】

話題提供① 『 鋼橋の維持管理の現状と課題(疲労に着目して) 』

パネラー 阪神高速道路株式会社 加賀山 泰一 氏

話題要旨

阪神高速道路の最初の供用以来、45 年以上が過ぎ、現在その延長は約 250Km に至り、1 日の交通量は 85 万台に及ぶ。阪神高速道路は都市高速道路としての性質上、延長比で 80%が高架橋の橋梁構造で、かつその 80%が鋼橋である。定期的に行っている点検結果からは、これら鋼橋における損傷は疲労と腐食で 2 / 3 を占める状況であり、これら 2 つの損傷は、鋼橋にとっては避けることができない損傷といえる。

そこで、今回はこの疲労損傷について、過去阪神高速道路で発生した代表的な事例と対応策について、阪神高速では「鋼橋の疲労対策」として取りまとめており、その概要を含めて紹介する。また、併せて、今後の疲労に関する維持管理における課題や取り組み方針について紹介をする。

話題提供② 『 PC 橋の維持管理の現状と課題(鋼材腐食に着目して) 』

パネラー 株式会社ピーエス三菱 石井 浩司 氏

話題要旨

凍結防止剤の散布が与える PC 橋への影響の一つに PC 鋼材の腐食があります。塩化物イオンを含んだ融雪水がグラウト充てんの不足したシーす内に浸透し PC 鋼材を腐食させ、最悪の場合には PC 鋼材の破断が懸念されています。グラウト充てん不足部の補修の方法として一般的なグラウト材料を再充てんする方法を採用している場合が多いようです。しかし、塩化物イオンを含んだまま再充てんした場合の腐食抑制効果に関しては明らかに成っていないのが現状です。

塩化物イオンを含んだまま補修した場合の腐食抑制効果や新しい補修方法について話題提供を行います。

話題提供③ 『プレビーム橋の維持管理と現状と課題(ひび割れに着目して)』
パネラー 川田工業株式会社 藤林 博明 氏

話題要旨

プレビーム橋は、合成鉄桁橋の一種であり、鋼桁上フランジは床版と合成され、鋼桁下フランジはプレストレスを導入した下フランジコンクリートと合成させた2重合構造となっています。一般的に鋼桁全体がコンクリートに被覆された構造となっています。

近年の橋梁点検において、下フランジコンクリートおよびウェブコンクリートのひび割れが報告されています。そのため、今後の維持管理計画を検討する上で必要となる「プレビームの維持管理マニュアル」の策定を現在進めている状況です。

報告では、プレビーム橋におけるひび割れの発生状況の推移と最近の対策、および、補修事例について紹介します。

構造懇話会 懇親会申込書（返信用 FAX）

新例会終了後、兵庫県私学会館 1 階の「ハナワグリル」にて懇親会を開催します。
参加を希望される方は、必要事項をご記入の上、ご返信の程お願い申し上げます。

懇親会費用 : ¥4,000/人（当日集金させていただきます）
返信先FAX番号: 06-6569-0257

参考: ハナワグリル <http://www.kkbaccs.co.jp/>

日立造船株式会社 機械・インフラ本部
鉄構ビジネスユニット 設計部 橋梁設計課
島 賢治 宛
TEL 06-6569-0260

所属	お名前	領収書 (どちらかに○)
		必要・不要
		必要・不要
		必要・不要

恐れ入りますが、**1月18日(水)まで**にご返信の程よろしくお願い申し上げます。

尚、E-Mail でご返信いただいても結構です。E-Mail の場合は、

E-MAIL : shima_k@hitachizosen.co.jp 島 賢治 宛 にお願ひ致します。